

迎春

年頭のあいさつ

鬼北町長 松浦 甚一

新年あけましておめでとうでございます。皆様にはご家族お揃いでお元気に清しい新年を迎えられたことと存じ、心からお慶び申し上げます。昨年は町立北宇和病院の開設、アルコール工場跡地の活用等重要政策をはじめ各種政策の推進に深いご理解とご協力を頂きありがとうございます。心から感謝申し上げます。

信頼と互譲の精神で誕生した鬼北町も3年目を迎えました。合併に伴う政策の調整期間は終わって、いよいよ新生鬼北町に託した夢の実現に向って、「新町建設計画」を基本に策定した各種計画を実施、夢を形にする為に取り組むべき年になったと考えております。

その第一は、町立北宇和病院開設が実現をし、指定管理者として頑張ってもらっている社会福祉法人旭川荘と共に皆様に安心してご利用頂ける病院にする事は勿論、健全経営を目標に病室の改修、医療機器の整備を始め医師の確保等に努力を致しております。今年も国保診療所との連携強化を図り、医療福祉の充実に努めます。

第二にアルコール工場跡地の利活用については、住民アンケート調査を基に委員会報告を頂きました。そのポイントは、(1)「雇用創造の為の工場用地の確保」、(2)「定住人口増加の為の住宅用地の確保」、(3)「新庁舎建設を含めた公共用に供する

用地の確保」でありました。その中から団塊世代対策等を勘案し、住宅用地の整備に今年度から着手する事とし、既に作業に取り掛かっております。その中の一つに都会で暮らしておられる町出身者の方々200人にアンケート調査をさせて頂き、アルコール工場跡地の住宅政策について考え方をお聞き致しました。約2割の方が条件が合えば故郷に帰って住んでも良いとの気持ちを感じております。何よりも嬉しく思いましたのはたくさんの方から故郷を思う熱いメッセージを頂いた事です。ありがとうございます。

第三の商工、農林業の活性化であります。まず喜ぶべき事として、日吉と広見の商工会が合併に合意し、調印が終わり、4月1日付けで鬼北町商工会としてスタートがきれる事です。一方、日吉森林組合についても南予森林組合との合併の話合いが最終の段階にきていると考えており、議会の協力も得て町も積極的に応援をし合併出来る様に努力していきたいと考えております。

地方を取り巻く財政事情は、年々厳しさを増して来ております。私は今後、町として組織機構改革、人件費・物件費の縮減、事業の厳しい見直し等を行い、行財政の合理化・スリム化に徹し、健全且つ安定した町政運営に努めます。皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。合わせて皆様のご活躍をお祈り申し上げます。まして新年のごあいさつと致します。